

ZIP-FMで田中前本部長が技術開発の取り組みをPR

ZIP-FMの経済情報番組「Z-TIME BIZ」において、田中前本部長が2月24日、生放送に出演し、当社のPRを行ないました。

番組では、メガソーラーたけとよ発電所をはじめとした太陽光発電、あいち臨空新エネルギー実証研究エリアで開始するスターリングエンジン発電、アフリカ象の会話を「見える化」した音カメラ、電気自動車の普及支援の取り組みなどを紹介しました。

最後に、「未来の電気の世界は、電化推進とともに原子力に支えられた低炭

素社会の実現を描いている」と締めくくり、当社の次世代エネルギーへの取り組みを広く伝える好機となりました。



ZIPナビゲーター ケン・マスイ氏のインタビューに答える田中前本部長

文部科学大臣 創意工夫功労者賞受賞

4月に電力技術研究所 エネルギー・環境グループ伊藤博之研究副主査が「アスベスト簡易判定法の考案」により、文部科学大臣より表彰されました。本賞は優れた創意工夫によって各職域における科学技術の進歩または改良に寄与した、個人またはグループを表彰する栄えある賞です。公定法のアスベスト有無判定は時間も費用もかかりますが、これを現場で迅速かつ簡易に判定する試薬と手法を開発し、社内外で活用されたことが評価され受賞につながりました。

なお、本開発品は商品名「アスベストワカール」として株式会社ユニケミーで販売をしております。



表彰を受けた伊藤博之研究副主査

でんきの科学館で春イベント開催 音カメラ出展

「でんきの科学館 春特別イベント」が3月25～30日の6日間、でんきの科学館にて開催されました。これは子供たちの「未来を夢見る力」、「ものづくりへの関心」を育むことを目的として、でんきの科学館、ものづくり企業、研究機関とのコラボレーションで開催されたものです。

1階ロビーステージでは、「先端技術を用いた科学の特別授業」が日替わりで開催され、27日には中部電力の「音カメラ」が登場しました。音の発生原理や音色の違いなどを紹介したあと、バイオリンやトランペットの音色を音カメラで可視化する実験を行いました(協力:名古屋音楽大学)。ステージの合間には、参加者がストローで笛を作り、音カメラの前で音を出す体験型の工作教室も行いました。

参加されたお客さまからは「音を映像で見れるなんて楽しい！」などの感想が寄せられました。

今後も、中部電力の技術を様々な形でPRしていきたいと思っております。



音カメラを用いて講義を行っている様子